

R5年(2023年)夏～R6年(2024年)夏

☆ 昨年に続いて 青木克徳 葛飾区長が激励に！ ☆

7月6日(土)、青木克徳葛飾区長が、お忙しい中、野球部の激励に本校グラウンドまで足を運んでくださいました！

青木区長は本校の卒業生でもあります。さらに気合いが入りました！！先輩である青木区長、ありがとうございました！



☆ 小山台高校と引退試合を行いました！ ☆

6月10日(月)、毎年恒例の小山台高校との引退試合を江戸川区球場で行いました。これは夏の大会に背番号をもらえなかった選手、または大会での出場機会が少ない選手が出場し、お互いのスタンドでは大会さながらに部員、マネージャー、保護者、在校生が一体となって声出し応援をして高校野球の現役生活に区切りをつけるという、盛り上がりもあり涙もある試合です。

昨年、一昨年と葛飾野が勝利しましたが、今年是小山台高校が勝利しました。しかしながら、勝ち負けよりもお互いの選手たちが素敵な応援の中で、笑顔で思い切りよくバットを振り、ボールを追いかけ、必死に走る姿に江戸川区球場は感動に包まれました。

試合後はお互い甲子園さながらに校歌を全員で歌い、保護者も含めて記念写真を撮る時間も設けられ、夏の大会へ向けて、さらにチームがひとつになる一日となりました。



小山台高校の3年生と一緒に記念撮影

☆ 小学生との交流練習会を実施しました！ ☆

2024年1月13日(土)、葛飾区の少年野球チームの6年生を中心に男女約30名と指導者、保護者の方々を本校にお招きし、交流練習会を行いました。開会式では高校生も緊張気味でしたが、ウォーミングアップでの追いかけっこダッシュなどをやるうちにしだいにうちとけ、笑顔の中でメニューが進んでいきました。キャッチボールではボールの握り方から確認し、ロングティー、内野外野ごとのノック、シートノックを行いました。高校生の「いいよ!」「うまいねー」「おーすごい!」などの声がかかり、小学生たちはさらに笑顔になって楽しんでプレーをしていました。最後に高校生のシートノック、フリーバッティングを見ていただく予定でしたが、天候が急変し、突如の風雪と雷!シートノックが途中で中断してしまい、みんなびしょびしょ…。残念ではありましたが、教室で閉会式を行い、6年生の代表選手は「高校生のお兄さんたちはとても優しく教えてくれて、楽しくできたし良い経験になりました」とお話ししてくれました。私たち高校生にとっても多くのことを学ばせていただく貴重な機会となりました。来年はすべての学年でこのような機会が設けられたらと考えています。



ご参加いただいたチーム

奥戸南青空、東立石マイティーズ、フレッシュバンビ、幸田連合、水元ラビッツ、アポロバンビ、東京パワーズ、シティボーイズ、金町ジャイアンツ、葛飾アニマルズ、小松フェニックス、オール葛飾女子

☆ 2024年始動！ ☆

2024年1月4日、練習始めを行いました。例年通り地元の「亀有香取神社」（「こち亀」にも登場する勝負の神様が祀られています）に全員で参拝しました。グラウンドでは怪我の無いようにと各ポジションごとに散らばって、お清めの塩と酒でお祓いしました。さあ、新たな気持ちで「都立初の甲子園勝利」の目標に向けて、全員で本気で取り組む一年にしよう！



☆ 齋藤周氏「高校生のためのデータ分析」講座を実施しました！ ☆

令和5年12月23日(日)、プロ野球福岡ソフトバンクホークスのデータアナリストである **齋藤周(あまね)氏** をお迎えし、「高校生のためのデータ分析」と題して、本校が力を入れている理数教育と野球のデータ分析をコラボした講演を実施しました。試合に関わる様々なデータを収集・分析し、必要なスイングスピードや打球角度など野球の様々な場面で活用できる数値を分かりやすく説明してくださいました。最後の質疑応答では生徒たちから非常に多くの質問が出ましたが、的確に、分かりやすく説明していただき、理解が深まり、さらなる興味が高まりました。

齋藤周氏は、本校野球部監督が都立桜修館中等教育学校在任中、前期野球部（中学野球部）で指導していた時の選手で、後に、高校野球部では2年生夏に内野手として東東京大会ベスト16、卒業後は東京大学に進学し野球部に所属。2年生の途中、ケガもあって学生コーチに転身。同時にデータ分析による東大野球部の勝利に力を注ぎ、六大学リーグで3年間未勝利であった4年生の春と秋のリーグ戦では連敗をストップし、それぞれ勝利をもぎ取りました。令和4年からプロ野球福岡ソフトバンクホークスのデータアナリストとして活躍されています。齋藤周氏の SNS には興味・関心のもてる野球データの話がたくさんあります。ぜひ、検索してみてください。



☆ 早朝の落ち葉掃き ☆

下旬から一気に寒くなってきました。同時に葛飾野の敷地にあるイチヨウなどの葉が色づき始め、しだいに落ち葉となって道路を埋め尽くします。そこで野球部の出番です。週に一度は周囲のゴミ拾いをしていますが、この時期は同時に大量の落ち葉掃きを行っています。朝練の時間に清掃し、その後期末考査へ向けての勉強です。考査で運が味方してくれるかな…。



☆ 4年ぶりの夏季合宿に行ってきました(新チーム 7/31 ~8/3) ☆

コロナ禍前の 2019 年以来の夏季合宿を実施しました。今回は山梨県甲州市勝沼の国宝「大善寺」に宿泊させていただき、大変お世話になりました。また、3泊4日毎日山梨県の学校と練習試合をさせていただきました。甲子園出場経験のある日川高校や、昨春に関東大会に出場した甲府城西高校など全6校と経験を積ませていただき、大変有意義な中身の濃い合宿を行うことができました。甲府盆地の暑さは噂通りでしたが、それでも朝晩は東京より涼しい空気でした。桃もぶどうもとても美味しくいただきました。この経験を秋の大会に活かせるよう、夏休み後半も本気で活動していきます。



R4年(2023年)夏～R5年(2024年)夏

☆ 青木克徳 葛飾区長が激励に！ ☆

7月8日(土)、青木克徳葛飾区長が、野球部の激励に本校グラウンドまで足を運んでくださいました！

青木区長は本校の卒業生でもあります。さらに気合いが入りました！！先輩である青木区長、ありがとうございました！



☆ 七夕の日に祈りを込めて ☆

7月7日、練習後に大会への祈りを込めて、全部員が短冊に願いを書きました。バックネット裏の木にくくりつけて、いざ、出陣します！



☆ 小山台高校と引退試合を行いました！ ☆

6月19日(月)、毎年恒例の小山台高校との引退試合を江戸川区球場で行いました。これは夏の大会に背番号をもらえなかった選手、または大会での出場機会が少ない選手が出場し、お互いのスタンドでは大会さながらに部員、マネージャー、保護者、在校生が一体となって声出し応援をして高校野球の現役生活に区切りをつけるという、盛り上がりもあり涙もある試合です。

今年的小山台の3年生は約50名と多く、3イニングで総交代という忙しい中で試合は進みました。序盤から葛飾野の打線が活発、葛飾野ピッチャーの小山もアンダースローから打ちに

くいボールを投げて、終わってみれば9回裏の2失点のみの人生初完投、6-2 で勝ちました。葛飾野で唯一背番号をもらえない土屋はこの日はフル出場。ヒットを放ち、盗塁、得点も記録しました。練習試合でも出場機会はそれほど多くなく、でも地道に努力を続けてきた選手でした。それだけに土屋がヒットを打ち、盗塁を成功させた時は大いに盛り上がりました。土屋はこの翌日から学生コーチとして、大会へ向けてチームのために、後輩たちのために全力を注ぐことを誓いました(涙)。

試合後はお互い甲子園さながら校歌を全員で歌い、保護者も含めて記念写真を撮る時間も設けられ、夏の大会へ向けて、さらにチームがひとつになる一日となりました。



試合前の円陣



小山台高校と全員で記念撮影

土屋の胴上げ

☆ 新入部員 ☆

今年は選手 12 名、マネージャー 5 名の計 17 名の 1 年生が入部しました！ これにより部員は 52 名となりました。部員数が多くなればなるほど、「チームが 1 つになる」ことは難しくなってきました。全員が同じ方向を向いて夏の大会を迎えられるよう、上級生の手腕が見ものです。今は上級生が 1 年生に「日誌」の指導を行っています。また、新チームへ向けての B チーム練習試合も多数予定されています。1 年生も出場する選手が多くいると思います。しっかりと体を強く、大きくして上級生と競っていくことでしょう。今後の 1 年生の成長、そしてチームの成長に期待です。

☆ただ今、冬練習真っ只中です！☆



令和4年12月上旬に期末考査が終わり、その日から2月末までの冬季練習に入っています。ある日の早朝のグラウンドは霜柱が立ち、前日に降った雨でできた水溜まりは凍っていました。それでも白い息を吐きながら、ウォーミングアップ、トレーニングから「キャッチ&スロー(葛飾野ではキャッチボールをこう

言います)」、ボール回しなど基本練習、広いグラウンドを有効に使ったフリーバッティングのローテーションなど、個々のレベルアップを重視した取り組みが進んでいきます。

この冬季練習に先立ち、選手たちはミーティングで「打力の大幅強化」「守備力の大幅強化」「夏につながる雰囲気作り」をテーマと決めました。それを念頭に、元気よく、力強く、冬季練習に取り組んでいきます。

☆ 齋藤佑樹さんが「バーチャル高校野球」の取材で来校されました！ ☆

令和4年12月、「バーチャル高校野球」でハンカチ王子こと齋藤佑樹さん(元北海道日本ハムファイターズ投手)がフィールドディレクターとして企画する「未来へのメッセージ」において、葛飾野高校野球部を取り上げていただきました。当日は冬の寒さを感じる空気ではありましたが、晴天に恵まれ、暖かな太陽の下、選手たちは元気よく練習を始めました。

この内容は12月21日(木)の朝日新聞朝刊に掲載されました。また、以下の「バーチャル高校野球」のサイト内では動画もご覧になれます。葛飾野野球部の取り組みを、ぜひ感じ取っていただければと思います。



※バーチャル高校野球のリンクはこちらからどうぞ

バーチャル高校野球 齋藤佑樹「未来へのメッセージ」⇒<https://sports.yahoo.co.jp/video/player/8985185>

☆月刊高校野球『CHARGE!』に掲載されました!☆

9月に発行された月刊高校野球雑誌『CHARGE!』(チャージ) 第104回東西東京大会総集号に葛飾野野球部の戦いぶりが紹介されました。これはベスト16に入った学校が掲載されています。



修徳との亀有対決を制してベスト16
2012年以來の夏5回戦進出



順位	学校	投手	捕手
1	三浦	三浦 健太	三浦 健太
2	三浦	三浦 健太	三浦 健太
3	三浦	三浦 健太	三浦 健太
4	三浦	三浦 健太	三浦 健太
5	三浦	三浦 健太	三浦 健太
6	三浦	三浦 健太	三浦 健太
7	三浦	三浦 健太	三浦 健太
8	三浦	三浦 健太	三浦 健太
9	三浦	三浦 健太	三浦 健太
10	三浦	三浦 健太	三浦 健太
11	三浦	三浦 健太	三浦 健太
12	三浦	三浦 健太	三浦 健太
13	三浦	三浦 健太	三浦 健太
14	三浦	三浦 健太	三浦 健太
15	三浦	三浦 健太	三浦 健太
16	三浦	三浦 健太	三浦 健太



葛飾野は、明石投手、岡田捕手へやむを得ず
選出されて、強豪の攻撃を1点に抑えて
3対1で勝利した。守野兼監督の投手交代
のタイミングなど新監督の「守」が、投手陣
からの「勇躍」を導いた。
5回戦の文章期は激闘だった。先発は川
野の活躍でゲームを奪取していき、5回
で最大リードに優勢で試合はつづく。7回
には最終投手の中継タイムで2対1と勝ち越し
に成功した。この試合でも川野から再戦、そして
スティーブが一つ一つの瞬間に力を注ぎ、
優勝のチャンスは、投手陣を返さず、また
の三浦投手陣は、試合後、涙を流して、こ
れをもう一度を肯定してもらった。チームのために
闘った選手たちのキヤリアーも選手の大変な
闘いだった。

☆2学期中間考査へ向けて【野球部勉強会】(10月下旬)☆

本校では10月20日(木)から中間考査が実施されます。野球部では毎回の考査1週間前から「野球部勉強会」を朝と放課後に実施しています。さらに、土曜日・日曜日も午前中に勉強会に取り組んでいます。また、考査前のみならず、毎週水曜日の朝にも勉強会を実施するなど勉学にも力を入れて「文武生活三刀流」を実践しています。

高校生としてしっかりと知識と考える力、応用力をつけて、自分の望む進路決定に繋げるためです。また、正直、逃げたくなるような勉強に挑むことで、心も磨かれると考えています。でも、わかると勉強も楽しいですよ。

この勉強会の特徴は自学自習だけでなく「教え合い」をすることです。各自の苦手な教科や分からないところを同級生や先輩に質問して、理解を深めています。昨年度のある日は、3年生数名が英語の苦手な2年生約10名に「英語ミニ講座」を開き、先生のように教えている光景がありました。これは教える側の3年生の学びにもなったようです。このように野球部では「すべてを全力で取り組もう」という意識をもって生活しています。

